

AIによる配達ルート自動作成等を活用した配達業務支援システムの試行導入 ～新技術活用による持続可能な業務モデルの確立と労働力市場ひっ迫への対応～

1 導入の経緯

現在、当社を含めた宅配業界では、生産年齢人口の減少や EC 市場の拡大などによる宅配便取扱個数の増加を要因として、構造的な人手不足に直面しています。

当社では、宅配のラストワンマイルである配達を担う「人」を AI などの新しい技術で支援し、業務負荷の軽減、業務経験の浅い人でも簡単に配達できる仕組み作りを行うことで、「当社の配達業務で誰もが活躍できる環境の実現」（持続可能な業務モデルの確立）を目指してきました。

上記の目的に向けて、日本郵政グループの出資先企業の CBcloud 株式会社（以下「CBcloud」）および当社主催のオープンイノベーションプログラム（POST LOGITECH INNOVATION PROGRAM）の第 1 回最優秀賞受賞企業である株式会社オプティマインド（以下「オプティマインド」）と、これまで継続して実証実験を重ねてきた結果、一定の成果を確認したことから、今回の試行導入に至りました。

2 試行の詳細

CBcloud が提供する宅配ソリューションシステム「SmaRyu Post^{スマリユー ポスト}」と、オプティマインドが提供する AI による配達ルート自動作成システム「Loogia^{ルージャ}」を全面的に連携させたシステム（※）を試験的に活用し、以下のとおり全国約 200 局の郵便局でゆうパックなどの配達業務を実施します。

※両システムの連携は初の取り組みです。システムの詳細は項番 3 をご参照ください。

試行期間	2020 年 6 月～2021 年 3 月（予定）
試行する郵便局数	全国約 200 局の配達業務を行う郵便局（予定） ※2020 年 6 月に試行を開始し、順次拡大する予定です。
試行対象エリア	上記郵便局の一部エリアで試行します。
試行対象商品	ゆうパックおよびゆうパケット ※上記以外の商品を含む可能性もあります。
お客さまへの影響	紙の配達証へのお受け取りのご署名またはご捺印に代えて、配達担当者が携行するスマートフォンに電子サインを頂戴します。

3 配達業務支援システムの詳細

(1) SmaRyu Post (CBcloud)

SmaRyu Post は、スマートフォンのみで稼働し、次のような一連の機能を一気通貫で提供するクラウド型宅配業務支援システムです。

- ・車両への荷物積み込み、配達
- ・ルートの自動作成およびナビゲーション（後述の Loogia と連携）

- ・ 配送ステータス管理
- ・ 配達状況の画像撮影、電子サイン など



【操作イメージ】

(2) Loogia (オプティマインド)

独自のアルゴリズムにより、最適な配達順序やルートを AI で自動計算し、提示することで、これまで配達経験のない方も熟練者と遜色なく業務を行えるよう支援するルーティング技術を担当します。



【地図イメージ】